

特定非営利活動法人
マナー教育サポート協会 会報誌

第11号



<目次>

■ 岩下理事長の魅力	理事 南 節子	(P 2)
■ 第5回賛助会員様インタビュー企画 NTTコムウェア(株)様	松尾 祐子	(P 3)
■ キッズフェスタでの出会いが喜びに!	岸田 輝美	(P 5)
■ 子どもに伝えたい和食のマナー	大藪 昌代	(P 5)
■ 港南子ども中高生プラザ様 「親子の食事のマナー教室」	田中 ゆり子	(P 6)
■ 第3回花天の会「青葉の集い」	湯浅 智子	(P 7)
■ 親と子のマナー講座		(P 8)
● 活動報告及び予定	事務局	(P 9)
● 正会員様と賛助会員様紹介	事務局	(P 10)
● 運営体制とお問い合わせ	事務局	(P 11)

岩下理事長の魅力

理事 南 節子

「マナーは愛」、「愛とは相手に対する思いやりの気持ち」と岩下先生はおっしゃいます。マナーを勉強するお仲間に入れて頂いて15年経った今、その意味がようやく分かるようになりました。

それまでの私にとってのマナーとは、両親の離別により躰を受けていないということに劣等感を抱いていたため、社会常識からはずれていると思われない様に、恥をかかない様に、世間様から後ろ指をさされない様にとの思いの中で自分を律することであったように思います。

このようにマナーについて一番遠い所にいた私ですが、人事異動で営業担当から企業の研修担当として発令され、新入社員研修でマナーを教えることになりました。まさに晴天の霹靂でした。本を読んだり、講師のための研修に参加したり、スタッフの授業を見学したりしながら自己流のレッスンプランをもとに研修講師の仕事をしておりました。

そんな時、香月副理事長から岩下先生をご紹介頂いて、マナーを勉強する会に入会致しました。「マナーは愛」???, 初めて聞いた言葉です。

先生のご指導は、今迄受けた研修とまったく違っておりました。お辞儀ひとつとってもこのお辞儀の仕方とこちらでは、相手から見てどちらが綺麗?物の受け渡しでも差し出し方によって、相手の方が受け取りやすいのはどちら? 自分達で考え納得して身につけさせようとされる説明に目から鱗の例えのとおりでした。100人いれば、100通りのマナーがあり、こうでなければならぬことは何一つとしてなく、大切なことは相手の立場に立ち相手に添うということ。先生の慈愛に満ちた笑顔と全体の和やかな雰囲気の中で、お互いの信頼が結ばれ、ゆったりと豊かな時間が流れ、心が洗われる思いが致しました。

先生の講話で感動するのは、すべて相手が先にあり、そこに相手に対する思いやりの心が必ずあることです。飾ったり、気取ったりすることなく、ありのままにいて天真爛漫の先生ですが、いつも人を癒し、受け入れるオーラで包んでいただけます。だからこそ先生の周りにはいつも人が集います。

「マナーは愛」、「愛とは相手に対する思いやりの気持ち」、私もこの言葉を大切に精進していきたいと思います。



第5回賛助会員様インタビュー企画 NTTコムウェア株式会社様

取材 松尾祐子

私どもの活動にご支援を賜っている企業・団体様をご紹介させていただく企画です。今回は、NTTコムウェア株式会社総務人事部CSR推進室担当課長田積様にお話を伺いました。

広報部 平素より当協会の活動にご支援を賜り誠にありがとうございます。早速ですが、当協会をお知りになったきっかけについてお聞かせいただけますか？

田積様 他グループ会社からの紹介を受け、マナー教育サポート協会様が行う「子どもたちが思いやりにあふれ、たくましく育つための活動」が、当社の社会貢献の考え方と意を同じくすることから、賛助会員というかたちで協力することになりました。



広報部 ありがとうございます。NTTコムウェア様様の社会貢献に対するお考えについて教えていただけますか？

田積様 はい、コムウェアグループは、「人々の相互理解と社会の進化発展を支える」との企業理念に基づき、良き企業市民として、社会貢献活動を全社的に展開しています。全社的な活動テーマは、①社会参加型を中心としたテーマ②事業特性にマッチしたテーマ③地球環境保護に対するテーマという3つの視点から設定し、より意義のある取り組みを実施するよう努めています。

実施している活動としては

*社員参加型：ビル周辺清掃の実施、芝浦港南地区安全美化協議会主催の清掃活動・パトロールへの参加、共同募金の実施、エコキャップ活動等

*事業特性にマッチ：不要PCの寄贈

*環境保護：コムウェアの森、NPO 緑化ネットワーク（中国ホルチン砂漠の緑化活動）支援、紙・ゴミ・電気の削減活動、（ダブリますがビル周辺清掃の実施、芝浦港南地区安全美化協議会主催の清掃活動・みなと環境にやさしい事業者会議主催の打水大作戦への参加）等があります。

その他に、2～3年前から、「日本の未来を担う子どもたちを育てるのも、地域社会で事業を営ませていただいている企業の役割ではないか」という考えを持ち、2009年度は、重点実施項目として各種施策を展開することにしております。

（詳しくは、CSR報告書2009をご覧くださいと思います。

<http://www.nttcom.co.jp/common/pdf/2009csrreport.pdf>）

広報部 様々な活動をなさっていらっしゃるんですね。夏にご依頼をいただきましたキッズフェスタ2009への参加もその一環でいらっしゃいますか？

田積様 重点実施項目としての「子ども教育」に関する施策を模索していたところ、当社社員を通じてキッズフェスタ2009が開催されることを知りました。

（偶然にも、その社員の友人がキッズフェスタを主催する東京国際フォーラムの広報担当者をされていて、出展する企業を探していたのです）

直ちに、東京国際フォーラムの担当者からイベント内容を伺ったところ、当社の考え

る「子ども教育」にマッチしていたことから、なんとか参加したいと思いました。その方法を考えていたときに、マナー教育サポート協会様の協力をいただければ実現できるのではないかと思います、事務局長の田中様に相談したところ、快くお引き受けいただきました。

広報部 ご縁があったのですね。ご依頼いただくにあたってのポイントや期待された点についてお聞かせいただけますか？

田積様 第一に、すべての子どもたちの心が思いやりに満ちあふれ、たくましく育て欲しいと願うとともに、正しい作法、美しい振る舞いを見につけ、日本人ならではの所作を未来に受け継いでもらいたいこと。

次に、マナー教育サポート協会様とのコラボレーションによるコムウェアの企業イメージの向上です。

広報部 そのご意向を受けて、すぐにPJを発足し具体的な内容について検討いたしました。その結果、「ゲームで覚えるマナー&あいさつ」をテーマに①公共の場でのマナーをクイズ方式で②箸使いをビーズ拾いゲームを通じて③食するときのマナーをかるたで楽しんで学んでもらえるような構成にいたしました。とくに、かるたは、スタッフが考えたことばを使ったオリジナルのものになっています。

また、当日は、NTTコムウェア様様の「コムハート」(社会貢献活動の愛称&ロゴ)がプリントされたTシャツをユニフォームにさせていただきましたが、色鮮やかなピンク色はひときわ目立っていたと思います。

田積様も見学に来てくださいましたが、いかがでしたでしょうか？

田積様 みんな楽しそうでした。子どもの心をくすぐったよい内容だったと思います。遊びの要素は大切ですから。

広報部 ありがとうございます。子どもたちがイベントに参加したことで、マナーの大切さを感じ、その後も興味を持ち続けるきっかけになればと願っています。

最後に私どもに期待する活動やご意見などについてお聞かせいただけますか？

田積様 マナー教育サポート協会様の活動は、乱れがちな日本人の心や言葉・行いなどを、本来あるべき姿に導くための非常に大切な仕事であると思っています。

美しい日本の心としぐさなどを、善き伝統として未来に引き継がれることを企業市民として望んでいます。簡単なことではないことは十分に承知していますが、これからもできる限りの協力をさせていただきますので、未永い活動を期待しています。

広報部 本日はありがとうございました。これからもコムウェア様様の社会貢献理念に基づく活動にご協力できるよう努めて参りたいと思います。

😊 クイズ



😊 箸使い



😊 かるた



キッズフェスタでの出会いが喜びに！

キッズフェスタ・プロジェクト 岸田輝美

2009年8月11日から13日まで、東京国際フォーラムで「丸の内キッズフェスタ」が開催されました。この大きなイベントに、NTTコムウェア様のご協力を得て「ゲームで覚えるマナー&あいさつ」をテーマに初めて参加をいたしました。延べ11万人の方々が東京フォーラムに足を運ばれましたが、私たちの「マナー学校」にも約360人の方が当日整理券を大変なご苦労で手に入れ、入校してくださいました。

クイズでは、「映画館では携帯電話をマナーモードにする？〇×」という質問にただ一人「×！電源を切る」と言ってくれた幼稚園の女の子にびっくりしました。

食育のかるたでは、たくさん取っている子も立派だなと感心しつつ、初めて出会った子たちのその輪の中で小さいお友達を気づかい取らせてあげている姿も何度も見られ嬉しさが込み上げました。

箸使いでは、今どきの子どもの口癖である「できない！無理！」を言いながらもキラキラビーズ拾いを諦めることなく一生懸命、箸を動かす子どもの姿に、パワーをもらいました。

全国の子どもたちに愛の種を蒔こう！というキャッチフレーズで活動を進めている日々ですが、全国の子どもたちが「愛の種」を貰いに来てくれました。最後のご挨拶も一人ひとりがちゃんと私たちの目に「ありがとうございました。」を語りかけてくれました。この子たちの種はきっと素敵な花になると信じています。

キッズフェスタ2009に携わってくださったすべての方々に感謝し、来年も子どもたちの元気いっぱいな笑顔に会えますようにと、祈っております。

子どもに伝えたい和食のマナー

認定講師 大藪 昌代

2009年7月25日、ホテルサンルートプラザ東京様のご協力により「子どもに伝えたい和食のマナー」を開催いたしました。昨年までの洋食から和食へとテーマを変えた初めてのイベントで、講師デビューをさせていただきました。

準備から何もかもが初めてのことで、当日まで、あっという間に過ぎてしまいました。夜、お布団に入っても、原稿のことが気になります。

結局、お布団の中でごそごそ原稿作りです。その一方で、あー、やっぱり私には少し荷が重かったのかも、、、(涙)と、そんな思いが日毎募るばかりで、講師辞退の何かよい言い訳がないか、そんなことを考える毎夜でもありました。

しかし、当日を終えた瞬間に、私の心の中に一杯あったものは、ハッピーな充実した気持ちでした。「こんなに幸せで嬉しくて、充実した気持ちは久しぶりかも！」そして、人って一人では生きていけない、やっぱり支えあって生きているんだ…、そんな当り前のことを改めて肌身で感じました。

岩下理事長、田中事務局長、岸田部長、そして会員の皆様から、開始直前まで励ましメールやご指導をいただきました。当日の会場ではお客様皆様の暖かい気持ちに支えられ、無事終える



ことができました。お子様達がニッコリ笑ってくれるお顔に、途中、何度助けられたかわかりません。



今回「和食」がテーマでしたが、自分が日本人であることの誇り、また「食べる」ということの大切さを学ぶことができました。

家族、友だち、大好きな人たちと食事ができる、ご飯を食べることができるということは、とてもとても幸せなことです。だから嫌なことがあっても、また明日も、がんばれる。そんな温かいハートを伝えられるように今後も頑張っていきたいと思います。

港南子ども中高生プラザ様 「親子の食事のマナー教室」報告

認定講師 田中 ゆり子

港南子ども中高生プラザ（学童クラブ）様にて、「普段の食事のマナー」をテーマに、夏休みに入ったばかりの7月18日（土）に実施いたしました。参加対象は小学1年生から4年生の親子で、参加数は38名（子ども21名、大人17名）となりました。

小学校の授業は、45分ほどに区切られ休憩時間が入りますが、今回は、食事時間や後片付けも含め、2時間半のセミナーに致しましたので、食事までの1時間半をできるだけ楽しくわかりやすく、マナーの話は面白いと感じてもらえるように心がけました。

話す言葉は、小学1年生に理解してもらう事を念頭におき、当協会が常にお伝えしている「マナーはおもいやり」ということを、1年生の身の回りでありそうな事柄で説明致しました。実施後のアンケートの回答を見ますと、「子どもにわかりやすい説明だった」「子どもが飽きないように工夫されていた」「マナーは人を思いやる気持ちというところ、娘は理解できたと思います」などが寄せられ、親子で楽しんで学んでいただけたことが何よりの喜びとなっております。



特にしっかり伝えたかったことは「いただきます・ご馳走様」の意味です。「もし、無人島でカレーライスが食べなくなったら」という話にストーリー性を持たせ、1年生にもイメージできるように自作の紙芝居仕立て（駄作ですが）にいたしました。

箸使いでは、写真のように正しい持ち方を覚えた後は、豆ひろいに挑戦していただきました。なかなか正しく持てない男の子が、セミナー終了後に「もう一度教えてください」と言いに来てくれ、くやし泣きしながらも覚えようとしてくれた事が、とても印象に残っております。

食事はバイキング形式でしたので、そのマナーもお話しし、お待ち兼ねのお食事タイムです。子どもも大人も神妙な面持ちながら、目だけはキラキラとさせて、お料理の前に列をなしていました。お料理もおいしかったようでお腹いっぱいになりながら、飛び入りの手品も披露され、とても満足した様子でした。



アンケートの中に「久々に子どもの食べる姿をまじまじと見られて良かった」という言葉があり、親御さんの毎日の忙しさや子どもたちの食事の状況を想像しますと、私どもが果たす役割は大きいと痛感いたしました。

この催しは、NTTコムウェア株式会社様の地域貢献活動として、本社所在地に程近い港区の学童クラブに、私どもの活動を支援していただく形で働きかけていただき実現したものです。

第3回花天の会「パ・ソヨ」2009「青葉の集い」

花天の会副会長 湯浅智子

日 時：2009年6月6日(土) 10時～15時

場 所：【コンベンション】マナー教育サポート協会 会議室(7F)

【昼食会】九段下『寿白』

【プチお茶会】九段下『寿白』 亭主:田中ゆり子さん 田中昌子さん

スケジュール

☆岩下会長の講演 テーマ『愛について考える』

☆マナー教育サポート協会 香月副理事長より花天の会会則一部変更について

☆～気づきの時間～「マナーを学ぶ者、教える者として日頃から心がけている事」

スピーチ 岸田輝美さん、大竹菜穂子さん

☆九段下『寿白』にて昼食会(和食)「水無月の大徳寺」

・サプライズ お弁当の中に海苔文字「ま・な・ー・は・あ・い・い・わ・し・た
・の・り・こ」が貼り付けてあった方に著書・掲載誌をプレゼント)

・マナー豆知識クイズ(正解者に懐紙をプレゼント)

☆プチお茶会体験 薄茶の頂き方 お干菓子

六月に入り、ますます目に眩しい緑の中、皆様のご協力のお陰で、無事に第3回花天の会を開催することができました。ここにご報告いたしますとともに、お集まりいただいた会員の皆様、岩下会長、香月副理事長、また、御目文字叶わずもメッセージを寄せて下さった方々にも深く感謝申し上げます。

岩下会長は「愛について考える」をテーマに、一時間たっぷりの講演をされました。愛について、あらためて皆様はどんなことを考えられましたか? 感じたこと、考えたこと、それぞれの思いなどを発表しあってみると、自分以外の新しい視点でマナーを考える良い機会にもなりますね。

今年のクイズも和食にちなんで見ました。以下はその一部ですが、挑戦してみてください。

天削箸は、なぜ上の部分が斜めにカットされているのでしょうか?

- ①お箸を取り上げ易くする ②斜めに削ぐことは格が高い ③綺麗な木目を見せる



答え ③

親と子のマナー講座 ～訪問のマナー～

私は、子どもの頃、お友達の家に遊びに行く際に両親から厳しく言われていたことがあります。それは、食事の時間帯にかからないように訪問するということと、もし食事の時間になってしまったら、必ず自宅に帰ってくるということです。しかし遊びに夢中になっているとつい時間を忘れ、お友達のお母さんに「〇〇ちゃん、うちでお昼ご飯も食べていらっしゃい」と言われてご馳走になっていました。でも、そのあとが大変！自宅に帰ってから両親に叱られました。その頃は、どうして叱られるのかが分かりませんでした。

大人同士であれば、急な訪問や食事時の来客は迷惑なものであるということは分かっているので事前に連絡をするということは当たり前ですが、子ども同士の場合はどうでしょうか。ついつい相手の都合も聞かずに、思い立ったらすぐに遊びに行っていないでしょうか。たとえ子ども同士であっても、互いの家を訪ねる時には事前に約束するように教えるべきです。

訪問するのが近所の家であっても、少なくとも30分前には訪問してもさしつかえがないかどうかの連絡を入れるようにしましょう。30分あれば簡単な後片付けやお掃除、お茶の用意、身支度もできるからです。この時には、何人で訪問するかも一緒に伝えておきます。予定外の人を連れて行くと迷惑なこともあるからです。

また相手の家を訪ねる際に、大人でも子どもでも気をつけたいことは共通です。まずは避けたい時間帯です。早朝や夕方以降、食事の準備中または食事中、小さな子どものいる家では子どもの昼寝の時間帯です。特に休日は、子どもは朝早くからお友達の家に行きたがるものです。どうして早い時間帯に訪問してはいけないのかを、きちんと説明してあげることが必要です。

次に大人同士であれば久しぶりの家に訪問する場合は、おみやげも用意した方がいいでしょう。出来れば訪ねる家の近所で買うのではなく、自宅の近所で購入しておきます。また今ではインターネットも普及して、日本中の名産品を手軽に「お取り寄せ」することも出来るので、普段からおみやげリストを考えておくのもよいかもかもしれません。子ども同士であれば、そこまで大げさにする必要はありませんが、簡単なおやつなどを持たせるとよいでしょう。

相手の家を訪ねる時間を守ることは、習慣づけることが大切です。ビジネスの場合は、自分の身支度や準備を整える時間として、約束の時間よりも早めに着くことが大切ですが、個人のお宅を訪ねる場合には、約束より早い時間に着くことは、かえって相手の迷惑になることがあるので気をつけるようにしましょう。

子どもの頃に親に厳しく教えられたことは、大人になってからも心に残っているものです。人として守らなくてはならないこと、大切にしなければいけないことは、小さな子どもの頃からまわりの大人が教えなくてはならないのです。

協会からのメッセージ

「本当のマナー」とは、人がお互いに気持ちよく心豊かに暮らしていくために必要不可欠な「思いやり」であり「愛」であると考えておりますが、更に大切なことは、それらを理解し、実践していくことだと考えております。子ども達のためのマナー教育を中心に、保護者の皆様、学校の先生方、社会人の皆様に対し活動を展開しています。活動を通じて、一人でも多くの方とお目にかかれるのを楽しみにしております。

活動報告及び予定について

活動結果報告（第6期下期）

【講師養成事業部】

5期生5名は、4月～7月の中級講座を受講しましたが、8月2日に修了試験を受け、9月26日から全員プロフェッショナルコースに進んでいます。

【研修事業部】

◆子どもを対象にした講習・講演

- 5月 市村自然塾関東（男子）様、市村自然塾関東（女子）様
日本サッカー協会アカデミー福島（男子）様、足立区立第六中学校様
- 6月 東洋英和女学院中学部様、足立区立花保中学校様
- 7月 千代田女学園中学校様、荒川区立第五中学校様
日本サッカー協会アカデミー福島（女子）様、
日本サッカー協会アカデミー福島（男子）様
- 8月 日本サッカー協会アカデミー福島（女子）様
キッズフェスタ 2009、足立区立第六中学校様、
- 9月 日本サッカー協会アカデミー福島（男子）様
日本サッカー協会アカデミー福島（女子）様、文京区立第八中学校様

◆大人を対象にした研修・講演

- 8月 市原市教育センター様、北区立王子区民館

◆親子を対象にした講演

- 7月 港区港南中高校生プラザ様

◆協会主催イベント

- 7月 子どもに伝えたい和食のマナー

【調査研究部】

「食事のマナーかるた」を作成し、キッズフェスタで使用いたしました。制作に当たりましては、NTTコムウェア様にご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。また、教材としても活用していきたいと考えております。

活動予定（第7期：2009/10/1～2010/3/31）

- 10月 坂戸市立浅羽野中学校様、文京区本郷消防署様
千葉市立朝日ヶ丘中学校様、中野区立中央中学校様
- 11月 葛飾区立桜道中学校様、日本サッカー協会アカデミー福島（男子）様
私立富士見中学校・高校様、鶴ヶ島市立西中学校様、台東区立桜橋中学校様
- 1月 文京区立第1中学校様、葛飾区立常盤中学校様、葛飾区立四ツ木中学校様
- 2月 私立国土館中学校様

～職場体験事前学習のご案内～

多くの中学校で「総合」の教科の時間に集団活動を通して心身の調和や、集団の一員としての自覚を深めることを目標に「キャリア教育」職場体験を行なっています。

学校とは違う集団に入っていくときの不安を和げたり、社会のマナーを通して協力し合う気持ちや思いやりの表現を身につけたり、そのようなことにお役に立てればと、主として東京23区の学校へご案内をお送りしております。

ご支援いただいている皆様 (五十音順)

- 株式会社アスク様 (<http://www.ask-gp.co.jp/>)
- イーハウス・アーキ・コラボレーション様 (<http://www.e-house.gr.jp/>)
- NTTコムウェア株式会社様 (<http://www.nttcom.co.jp/>)
- 株式会社NTTデータ様 (<http://www.nttdata.co.jp/>)
- 菊地道子税理士事務所様
- 株式会社協和エクシオ様 (<http://www.exeo.co.jp/>)
- 株式会社グローバルシティ様 (<http://www.globalcity.co.jp/>)
- 興南プレス工業株式会社様 (<http://www.tcn-catv.ne.jp/~kounan-press>)
- コムシスホールディングス株式会社様 (<http://www.comsys-hd.co.jp/>)
- コメスタ・ドーム株式会社様 (<http://www.comestadome.com>)
- 三晃商事株式会社様 (<http://www.sankoh-group.com/>)
- サンルートプラザ東京様 (<http://www.sunroute-plaza-tokyo.co.jp/>)
- 株式会社スリーライト様 (<http://www.threelight.co.jp/>)
- 学校法人誠真学園小中台幼稚園様 (<http://www.ans.co.jp/k/konakadai/>)
- 大明株式会社様 (<http://www.daimei.co.jp/>)
- 播磨機工株式会社様 (<http://www.sankoh-group.com/>)
- プライダルコスチューム GAJO 様 (<http://www.b-gajo.com/costume/>)
- 株式会社万葉軒様 (<http://www.manyouken.co.jp/>)
- 株式会社リコー様 (<http://www.ricoh.co.jp/>)
- NPO法人りすシステム様 (<http://www.seizenkeiyaku.org/HP/home.html>)
- レストランおまかせ亭様 (<http://www.omakasety.com/>)

相津美幸、青木まき子、新井ヒデ子、石井敏明、伊藤誠一、伊藤康子、伊藤弥生、稲垣裕久、今村光子、岩下宣子、岩下義弘、梅津稔、梅本久美子、江口和美、大藪昌代、岡本祐子、香月泰、勝田晶子、加藤恵子、加藤幸子、鐘ヶ江美和子、川岸秀子、岸田輝美、木ノ原誠司、熊澤厚子、藏満勝子、黒須シズ、黒須裕代、古関裕美、河野多紀、金野裕子、佐藤絹代、佐藤元昭、重松照代、島崎和子、鈴木初江、鈴木秀子、鈴木美和、染谷利江、大徳はるみ、高村多英子、田口和司、田口理恵、田中昌子、田中ゆり子、田辺由香里、土田美子、中嶋洋子、長塩由美、野崎文乃、野田頭よし子、萩原美江子、深町初江、藤井敏信、古屋隆、星野久子、前田美智子、松井憲子、松尾祐子、松本栄子、三浦和昌、三浦順一郎、三浦千賀、三上喜久雄、南節子、向山邦子、向山忠男、向山ひろ子、向山浩司、向山代志子、村上智美、森下はるみ、湯浅智子、吉村景美、和田香代子、渡邊ひろみ (敬称略) 2009/11/30 現在

会員募集のご案内

会員は、活動主旨に賛同し、支援して下さる個人または法人の皆様です。

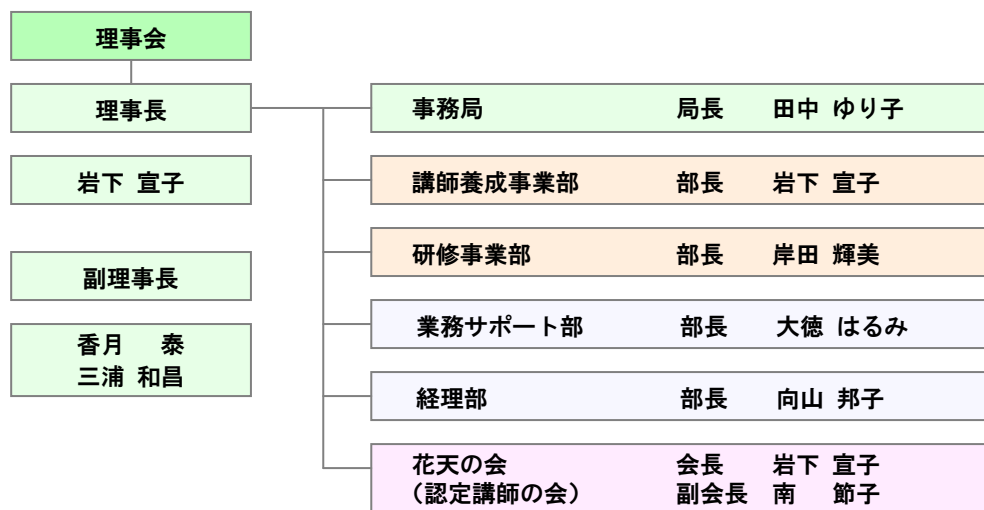
年会費 正会員 (個人) 5,000円

賛助会員 (個人) 2,000円 (法人) 1口 10,000円より

私たちの活動にご理解を賜り、ご支援ご協力くださいますようお願いいたします。

運営体制

活動を円滑に進めるために次のような運営体制を設けております。



お問合せ

特定非営利活動法人 マナー教育サポート協会

認証番号：15 生都協市特第 1585 号（平成 15 年 11 月 5 日東京都）

所在地：東京都千代田区九段北 1-9-5 朝日九段マンション 704 号

（不在の時もございます。御用の際はご予約をお願いいたします。）

電話&FAX：03-3239-0229

メール：e-manners@eagle.ocn.ne.jp

ホームページ：<http://www.e-manners.org>

2009 年 11 月 30 日発行（年 2 回発行予定）発行・編集・制作＝特定非営利活動法人マナー教育サポート協会

Copyright © 2008 NPO Manners Support Association. All rights reserved.

イラストの一部は、「フリー素材の人物イラスト屋さん (<http://free-illustration.com/index.html>)」のものを使用しています。